

沿革 History

日通商事の歴史は、イノベーションのあゆみです。

- 1939年 12月 日本通運株式会社は、「日本荷造工業株式会社」を創設。資本金19万5千円。これが、日通商事株式会社ロジスティクス・サポート事業部の前身。
- 1944年 12月 資本金を250万円に増資。社名を「日本荷造株式会社」に改称。
- 1948年 2月 東京・深川に新工場を設置、本社深川工場とする。以後、深川を梱包事業発祥の地とする。
- 1950年 5月 資本金を600万円に増資。社名を「日本荷造工業株式会社」に改称。
- 1961年 4月 川崎工場、名古屋工場を新設。
- 1961年 7月 社名を「日通荷造工業株式会社」に改称。
- 1963年 10月 資本金1億500万円に増資。練馬工場・鈴鹿作業所・浜松作業所を新設。
- 1964年 4月 日本通運系列各社の大統合と歩みを合わせ、日通荷造工業株式会社・日本カートン株式会社・日通京浜梱包株式会社・大阪日通荷造工業株式会社・関西カートン株式会社の包装各社を統合し、「日通包装工業株式会社」を設立。
- 1964年 10月 オートバイ輸出梱包専業4工場・作業所（練馬・名古屋・鈴鹿・浜松）を事業部と分離して、「江東事業所」として設置。
- 1965年 4月 日通商事株式会社に統合。資本金33億9500万円。梱包事業関係は、「東京支店 包装部 各工場」「江東事業所 各工場・作業所」「大阪支店淀川工場」の3つの総合支店に分離。
- 1977年 4月 日通商事の統合により3つの総合支店に分配配置された12工場を再組織し、梱包事業支店を設置。
- 1980年 4月 資本金40億円に増資。
- 1986年 2月 梱包事業支店を、本社梱包事業部に改組、名称変更。三菱作業所を廃止、鹿島田工場に改組。
- 1986年 10月 宇都宮工場竣工。
- 1988年 10月 小山作業所を廃止、小山工場に改組。
- 1989年 1月 狭山工場・立川梱包センター、今福梱包センター開設。
- 1989年 9月 米国日通との合併により米国オハイオに NEX TRANSPORT INC. を設立。
- 1990年 9月 名古屋工場・北陸梱包センター開設。
- 1991年 9月 鹿島田工場・東扇島センター開設。
- 1991年 12月 狭山工場・新潟梱包センター開設。
- 1993年 8月 鈴鹿工場・亀山部品センター竣工。
- 1993年 12月 大阪工場を廃止、神戸梱包センターを神戸工場に改組。
- 1996年 12月 タイ日通との共同により日通商事タイランド株式会社を設立。
- 1997年 2月 神戸工場新設。
- 1998年 10月 九州梱包センター設置。
- 1999年 4月 川崎工場を東京梱包工場に、深川工場を深川梱包センターに改組。
- 1999年 11月 成田梱包センター設置。
- 2000年 1月 鹿島田工場を東扇島センターに集約。
- 2000年 4月 梱包事業部を「ロジスティクス・サポート事業部」に名称変更。工場をLSセンターと改名。サード・パーティLSセンター、スチールLSセンターを新設。
- 2003年 9月 日通商事インドネシア株式会社を設立。
- 2004年 4月 日通商事（武漢）倉儲有限公司を設立。
- 2004年 8月 日通商事（香港）有限公司を設立。
- 2012年 9月 日通商事インドを設立。
- 2014年 2月 AZL（タイランド）を設立。
- 2014年 6月 日通商事マレーシアを設立。
- 2014年 8月 日通商事タイランド内に「南アジア地域営業部」を設置。
- 2015年 1月 日通商事メキシコを設立。

